

製品名: ユビキチン K63 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03251**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.13mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 26 kDa; Observed MW: 8 kDa

抗原情報

遺伝子名	UBB
別名	FLJ25987; MGC8385; ubiquitin B; Ubiquitin; UBCEP1; UBCEP2; RPS27A
遺伝子 ID	7314
SwissProt ID	P0CG47
免疫原	ヒトユビキチン（結合特異的 K63）の合成ペプチド

背景

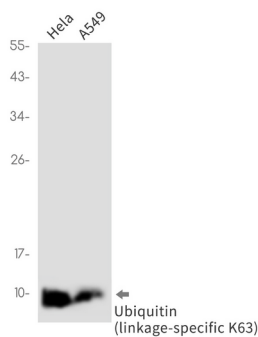
ユビキチン-プロテアソーム経路において重要な役割を果たします。ユビキチンは、ユビキチン化プロセスによって多くの細胞タンパ

ク質と共有結合し、26S プロテアソームによる分解の標的タンパク質となります。標的タンパク質とユビキチンの結合プロセスには、3つの要素が関与しています。ユビキチンはまず活性化要素 E1 とチオールエステル複合体を形成することで活性化されます。活性化されたユビキチンは次にユビキチンキャリアタンパク質 E2 に転移し、E2 からユビキチンリガーゼ E3 へと運ばれ、最終的に標的タンパク質のリジン残基のイプシロン NH2 へと輸送されます。

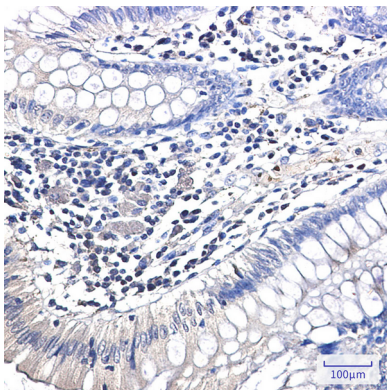
研究分野

神経科学

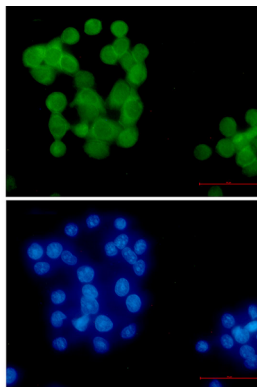
画像データ



ユビキチン K63 抗体を使用した HeLa A549 溶解物中のユビキチン (結合特異的 K63) のウェスタンプロット分析。



ユビキチン (結合特異的 K63) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ユビキチン (連鎖特異的 K63) 抗体および DAPI (青) を用いたヘマトクリットにおけるユビキチン (連鎖特異的 K63) (緑) の免疫細胞化学分析